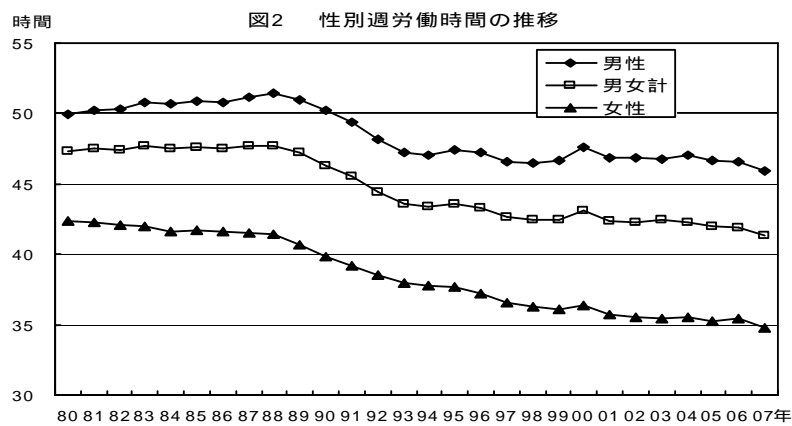
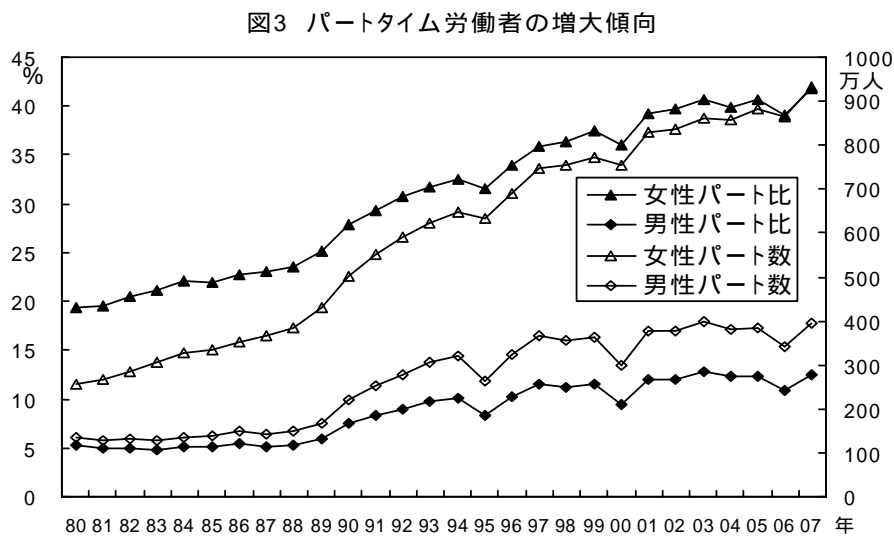


(出所) 労働省「毎月勤労統計調査」、総務庁「労働力調査」。  
 (注) 1) 年間労働時間は「毎月勤労統計調査」の月労働時間を12倍、「労働力調査」の週労働時間を52倍して算出。  
 2) 「毎月勤労統計調査」の労働時間は実働、所定とも規模30人以上  
 (出所) 労働力調査年報各年版。



(出所) 「労働力調査」



(出所) 図2に同じ。  
 (注) パートタイム労働者は週労働時間が35時間未満の者を指す。

表1 性別・年齢階級別・時間階級別に見た労働時間の分布

	総数	35時間未満	35～42時間	43～48時間	49～59時間	60時間以上	60時間以上の比率	週平均時間
男女	5996	1499	1732	1019	959	750	16.8	41.9
15～19歳	95	56	18	10	7	3	7.9	28.7
20～24	473	128	148	86	67	40	11.7	39.9
25～29	660	104	218	129	120	84	15.2	44.5
30～34	721	123	212	131	135	115	19.4	45.0
35～39	653	136	176	110	122	106	20.7	44.2
40～44	633	149	170	105	111	95	19.8	43.1
45～49	621	147	178	106	106	79	16.8	42.5
50～54	676	163	202	120	109	79	15.5	42.1
55～59	707	174	220	125	105	78	14.8	41.7
60～64	400	149	109	57	44	39	15.6	38.2
65～	358	169	81	40	34	31	16.6	34.5
男性	3525	471	964	696	737	635	20.9	46.7
15～19歳	48	25	10	6	5	3	13.0	31.5
20～24	236	58	63	44	40	29	16.5	41.7
25～29	375	35	104	79	84	70	20.7	48.0
30～34	<b>449</b>	<b>31</b>	<b>112</b>	<b>91</b>	<b>108</b>	<b>103</b>	<b>24.9</b>	<b>49.9</b>
35～39	<b>402</b>	<b>27</b>	<b>95</b>	<b>80</b>	<b>101</b>	<b>96</b>	<b>25.8</b>	<b>50.3</b>
40～44	<b>369</b>	<b>25</b>	<b>92</b>	<b>74</b>	<b>90</b>	<b>85</b>	<b>24.9</b>	<b>49.8</b>
45～49	354	25	98	75	84	69	21.1	48.9
50～54	392	35	118	85	86	66	18.6	47.6
55～59	426	48	140	91	82	62	16.5	46.3
60～64	248	67	74	42	34	30	16.7	41.8
65～	227	96	56	29	24	22	16.9	36.4
女性	2471	1029	769	323	223	115	8.0	35.1
15～19歳	47	31	8	4	2	1	6.7	25.8
20～24	237	70	85	41	27	11	6.7	38.0
25～29	285	69	114	50	36	14	6.5	39.8
30～34	273	92	100	40	27	11	6.1	36.9
35～39	251	109	80	30	21	10	7.1	34.3
40～44	264	123	78	30	21	10	7.2	33.7
45～49	267	122	80	31	22	10	7.0	34.1
50～54	284	128	84	35	23	12	7.7	34.6
55～59	281	126	80	34	23	16	10.5	34.8
60～64	152	82	35	15	10	9	13.0	32.4
65～	131	74	25	11	11	10	17.5	31.3

(出所) 2005年「労働力調査年報」、非農林業就業者。

(注)「週60時間以上の比率」は週35時間以上の労働者中の週60時間以上の労働者の割合を意味する。

表2 過労死・過労自殺などの労災認定状況

年度		1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006
脳・ 心臓 疾患	請求件数	493	617	690	819	742	816	869	938
	認定件数	81	85	143	317	314	294	330	355
	うち死亡	48	45	58	160	158	150	157	147
精神 障害 等	請求件数	155	212	265	341	447	524	656	819
	認定件数	14	36	70	100	108	130	127	205
	うち自殺	11	19	31	43	40	45	42	66

(出所) 厚生労働省「脳・心臓疾患及び精神障害等に係る労災補償状況」2004～2007年。

(注) 脳・心臓疾患、精神障害とも業務により発症した事案。自殺は未遂を含む。

表3 年間労働時間などの推移 1980年～2007年

年	労調 実働	毎勤 所定	法定 時間 (年間)	所定外 (1)-(2)	法定外 (1)-(3)	毎勤 所定外 支払	所定外 不払 (4)-(6)	法定外 不払 (5)-(6)
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
80	2460	1946	2102	514	358	162	352	196
81	2470	1940	2102	530	368	161	369	207
82	2465	1939	2102	526	363	157	369	206
83	2480	1937	2102	543	378	161	382	217
84	2470	1945	2102	525	368	171	354	197
85	2475	1932	2093	543	382	178	365	204
86	2470	1930	2093	540	377	172	368	205
87	2480	1933	2093	547	387	178	369	209
88	2480	1922	2093	558	387	189	369	198
89	2454	1898	2054	556	400	190	366	210
90	2408	1866	2016	542	392	186	356	206
91	2366	1841	1987	525	379	175	350	204
92	2309	1823	1968	486	341	149	337	192
93	2267	1780	1920	487	347	133	354	214
94	2257	1772	1910	485	347	132	353	215
95	2267	1772	1920	495	347	137	358	210
96	2252	1774	1920	478	332	145	333	187
97	2215	1750	1901	465	314	150	315	164
98	2210	1742	1901	468	309	137	331	172
99	2210	1709	1882	501	328	133	368	195
00	2241	1720	1891	521	350	139	382	211
01	2204	1714	1891	490	313	134	356	179
02	2200	1700	1882	500	318	137	363	181
03	2210	1700	1882	510	328	146	364	182
04	2200	1691	1882	509	318	149	360	169
05	2184	1680	1862	504	322	149	355	173
06	2179	1687	1862	492	317	155	337	162
07	2148	1690	1862	458	286	161	297	125

(出所)「労働力調査」「毎月勤労統計調査」事業所規模30人以上。

(注) 労調年間実労働時間は「労調」の週就業時間×52週。毎勤年間所定労働時間は「毎勤」の月所定労働時間×12か月。法定年間労働時間は、「毎勤」の1か月当たり出勤日数×12か月×8時間。

表4 「毎月勤労統計」一般労働者の実労働時間

	規模30人以上	規模5人以上
1993年	2010	2045
1994年	1999	2036
1995年	2004	2038
1996年	2016	2050
1997年	2000	2026
1998年	1985	2010
1999年	1984	2009
2000年	2004	2026
2001年	1992	2017
2002年	1996	2017
2003年	2004	2024
2004年	2021	2040
2005年	2009	2028
2006年	2023	2041

表5 残業不払賃金の試算 (2006年)

A	1人当たり年間実労働時間	2288時間	「労調」一般常雇・週労働時間×52週
B	1人当たり年間支払労働時間	2041時間	「毎勤」一般労働者週実労働時間×12月
C	1人当たり年間所定労働時間	1880時間	「毎勤」一般労働者所定×12月
D	1人当たり年実残業時間	408時間	A年間実働時間 - C年所定内労働時間
E	1人当たり年間支払残業時間	161時間	「毎勤」週所定外労働時間×12月
F	1人当たり年間不払残業時間	247時間	D年間実残業時間 - E年間支払残業時間
G	1時間当たり賃金	1970円	「毎勤」所定内給与 / 「毎勤」所定内労働時間
H	1人当たり年不払賃金	60万8238円	F218時間×G1936円×1.25
I	年間残業不払賃金総額	26兆0569億円	H608238×4284万人(一般常雇)
J	サービス残業総時間	105億8148万時間	F247時間×4284万人(一般常雇)

(出所) 「労働力調査」および「毎月勤労統計調査」の2006年平均結果から推計

(注1) 実労働時間は「労調」の非農林業雇用のうち役員を除く一般常雇のデータから取った。

(注2) 賃金支払労働時間、所定内労働時間、賃金支払残業時間は「毎勤」の一般労働者(漫模5人以上)のデータから取った。残業の割増賃金は25%増して計算した。

(注3) 一般常雇4284万人は「労働力調査」の被農林業常雇から役員を除いた人数。

表6 属性別にみた1か月間のサービス残業時間別分布 2005年6月(単位:%)

		回答数	0時間	1-39時間	40-79時間	80時間以上	合計	平均(時間0を含む)	平均(時間0を除く)
	全体	1,004	53.0	33.3	9.9	3.9	100.0	13.5	28.6
	男性	662	52.4	32.2	10.4	5.0	100.0	15.2	31.9
	女性	342	54.1	35.4	8.8	1.8	100.0	10.2	22.2
年齢階級	20歳代	139	56.8	28.8	10.1	4.3	100.0	13.2	30.5
	30歳代	417	51.3	34.1	10.1	4.6	100.0	14.6	30.0
	40歳代	328	51.8	33.2	11.3	3.7	100.0	13.5	28.1
	50歳代	120	57.5	35.8	5.0	1.7	100.0	9.7	22.8
職種	総務・人事・経理等	94	54.3	34.0	10.6	1.1	100.0	10.4	22.8
	一般事務・受付・秘書	125	61.6	35.2	2.4	0.8	100.0	6.9	17.9
	営業・販売	149	30.9	38.3	19.5	11.4	100.0	28.2	40.7
	接客サービス	49	69.4	24.5	4.1	2.0	100.0	6.9	22.5
	事務系専門職	15	46.7	40.0	13.3	0.0	100.0	13.5	25.4
	技術系専門職	127	59.1	32.3	5.5	3.1	100.0	10.6	26.0
	医療・教育関係の専門職	151	34.4	41.7	17.2	6.6	100.0	20.3	30.9
	現場管理・監督	52	53.8	34.6	9.6	1.9	100.0	13.6	29.4
	製造・生産・建設の作業	130	80.0	16.9	1.5	1.5	100.0	3.9	19.5
	輸送・運転	45	51.1	33.3	13.3	2.2	100.0	14.3	29.3
役職	警備・清掃	10	50.0	40.0	0.0	10.0	100.0	11.3	22.6
	一般社員	683	56.2	31.8	8.6	3.4	100.0	11.9	27.3
	係長・主任	321	46.1	36.4	12.5	5.0	100.0	16.7	31.0

(出所) 小倉一哉小倉一哉,『エンドレスワーカーズ 働き過ぎの日本人の実像』日本経済新聞社、2007年。

(注) 事務系専門職は調査分析・特許法務などを、また技術系専門職は研究開発・設計・SEなどを指す。

表7 賃金不払残業の是正結果 2003年4月 - 2007年3月

業種	企業数	対象労働者数(人)	是正支払額(万円)
製造業	1467	179523	2823799
鉱業	4	56	963
建設業	410	31819	448069
運輸交通業	228	15023	178126
貨物取扱業	24	1031	8713
農林業	14	143	2819
畜産・水産業	1	3	148
商業	1632	185889	1978602
金融・広告業	392	139264	1932117
映画・演劇業	11	690	11696
通信業	32	4762	82668
教育・研究業	178	25315	381483
保健衛生業	335	33184	261780
接客娯楽業	464	34369	477921
清掃・と畜業	63	4785	30101
官公署	0	0	0
その他の事業	569	58427	630760
合計	5824	714283	9249765
	1 企業平均額		1588
	1 労働者平均額		13

(出所)厚生労働省ホームページ。

(注)対象事業は2003年4月から2007年3月までに、定期監督および申告処理において割増賃金の不払に係る指導の結果、合計100万円以上の割増賃金の是正支払がなされたケース。

表8 サービス残業における未払賃金の主要是正事例

発表時期	企業名	対象人数(約)	支払金額(約)
2001年9月	モンテローザ	2万人	21億円
2003年7月	武富士	5000人	35億円
2003年12月	中部電力	1万2000人	65億円
2005年2月	日本郵政公社	57000人	32億円
2005年3月	東京電力	2万5900人	69億円
2005年3月	大阪ガス	1800人	18億円
2005年4月	ビッグカメラ	3700人	30億円
2005年4月	みずほ銀行	多数の従業員	20~30億円
2005年6月	関西電力	1万1100人	23億円
2005年6月	スタッフサービス	4000人	53億円
2007年3月	コナカ	1100人	13億円
2007年10月	キーコーヒー	1000人	23億円
2007年12月	ミドリ電化	3400人	37億円

(注)新聞などに報道された支払金額10億円以上の事例から筆者が作成。網羅的ではない。対象期間は支払期限の上限とされている過去2年以内。